



# 阿賀町 議会だより

## 循環型社会をめざし 悠久の森づくりへ

～木質ペレット製造施設(九島区)～



No.28  
2012.5

3月定例会  
委員会報告

11人が町政を問う

2～3P

4～5P

8～18P

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112  
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地  
発行責任者：議長 斎藤秀雄

## 議会報告会のお知らせ

5月22日(火)から24日(木)までの3日間の日程で、議会報告会を下記のとおり開催いたします。議会報告会は、議会の活動状況を各地域に出向いて直接町民の皆様へ報告し、町政に対するご意見やご提言を直接お聞かせいただくために開催いたします。

なおこの度は、来年の改選に向けての議員定数に対するご意見を拝聴いたしたく、皆様の出席をお待ちしております。

### 議会報告会開催日程表

班区分	5月22日(火)午後7時～		5月23日(水)午後7時～		5月24日(木)午後7時～	
	地区	会場	地区	会場	地区	会場
第1班	上川地域	長木集落ふれあいセンター	鹿瀬地域	菱潟ふれあいセンター	三川地域	新谷生活改善センター
第2班	津川地域	奥田会館	上川地域	松ヶ丘集落ふれあいセンター	鹿瀬地域	阿賀町公民館
第3班	鹿瀬地域	平瀬公民館	三川地域	吉津公会堂	津川地域	津川保健センター
第4班	三川地域	石戸集会所	津川地域	阿賀町地域活動総合支援センター	上川地域	明谷沢会館

### 議会報告会班編成表

	第1班	第2班	第3班	第4班
班長	五十嵐 隆 朗	石川 太 一	石田 守 家	佐藤 郁 夫
班員	入倉 政 盛	渡部 英 夫	小池 隆 晴	伊藤 武 一
	神田 八 郎	清田 輝 子	山口 周 一	宮川 弘 懿
	星 公 司	高橋 渡	猪俣 誠 一	佐久間 勇 夫
			宮澤 勝 見	

### 訂正とお詫び

No.27号で掲載した記事のなかで誤りがありました。  
訂正してお詫び致します。  
3ページの人権擁護委員の長谷川司氏の生年月日  
(誤) 昭和22年10月9日  
(正) 昭和25年10月9日

### 自治功労者賞 おめでとうございます

この度、地方自治の振興発展に貢献された功績に対して、全国町村議会議長会より表彰状が授与されました。  
今後一層のご活躍を祈念いたします。



猪俣 誠 一 議員 (在職 15年)

### 編集後記

冬来たりなば春遠からじ  
それにしても今年は空前絶  
後の大雪であった。幸いに  
も人的被害がなかったのは  
不幸中の幸いと言えよう。  
雪消えも例年からみると十  
日間以上は遅いが、漸く土  
の香漂う好季節を迎え、遅  
れた農作業を取り戻すべく  
汗している今日この頃、ひ  
とときの働く喜びを感じて  
いる。  
土を耕すにも耕せずにお  
られる多くの仲間が眼に見  
えない敵と戦っていること  
を思うとき一刻も早い復興  
と安寧を願わずにはいられ  
ない。  
(高橋)

### 広報対策特別委員会

- 委員長 神田 八郎
- 副委員長 小池 隆晴
- 委員 宮澤 勝見
- 委員 高橋 渡
- 委員 清田 輝子
- 委員 入倉 政盛

- 当初予算による  
主な事業**
- 総務費
    - ・集落集会施設整備事業 7、189万8千円
    - ・定住促進事業 399万9千円
  - 民生費
    - ・重度心身障害者医療費助成事業 4、860万3千円
    - ・介護給付事業 1億5、427万2千円
    - ・高齢者見守り事業 1、123万1千円
    - ・介護基盤緊急整備事業 2千万円
    - ・子どものための手当て支給費 1億5、035万8千円
    - ・保育園整備事業 5億2、418万1千円
    - ・妊産婦医療費助成事業 779万9千円
    - ・子ども医療費助成事業 2、110万3千円
    - ・予防接種事業 3、567万4千円

- 農林水産業費
  - ・地域農業担い手公社支援事業 1、103万9千円
  - ・県単農業農村整備事業 1、243万円
  - ・国土調査事業 4、002万7千円
  - ・有害鳥獣等対策 495万4千円
  - ・木質バイオマス活用推進事業 3億8、022万1千円
- 商工費
  - ・一般商工業振興費 3、795万7千円
  - ・観光施設ガイド事業 100万3千円
- 土木費
  - ・街路灯管理事業 1、309万3千円
  - ・除排雪対策費 3億403万2千円
  - ・地域住宅交付金 415万円

- 消防費
    - ・非常備消防施設整備事業 1、990万5千円
    - ・常備消防施設整備事業 1、459万5千円
  - 教育費
    - ・外国語指導助手招致事業 856万3千円
    - ・文化財保護保存事業 972万8千円
    - ・遺跡発掘調査費 1、243万円
    - ・全国高等学校総合体育大会開催事業 6、104万6千円
- 阿賀町監査委員決る…
- 渡部 政勝氏  
昭和27年11月9日生  
阿賀町向鹿瀬1325番地2
- 人権擁護委員候補者
- 宮川 毅氏  
昭和16年12月4日生  
阿賀町津川三二八番地二
- 猪俣トシ子氏  
昭和28年12月5日生  
阿賀町日出谷乙2055番地

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較
一般会計	13,060,000	12,340,000	720,000
国民健康保険特別会計	1,856,733	1,814,583	42,150
後期高齢者医療特別会計	184,150	182,779	1,371
介護保険特別会計	2,210,691	2,062,921	147,770
診療所特別会計	274,894	266,768	8,126
簡易水道事業特別会計	1,400,288	1,106,091	294,197
下水道事業特別会計	1,003,611	1,060,622	△57,011
町営スキー場特別会計	79,156	89,622	△10,466
水道事業 会計	収益的収入	128,642	
	収益的支出	152,557	
	資本的収入	21,900	
	資本的支出	80,829	

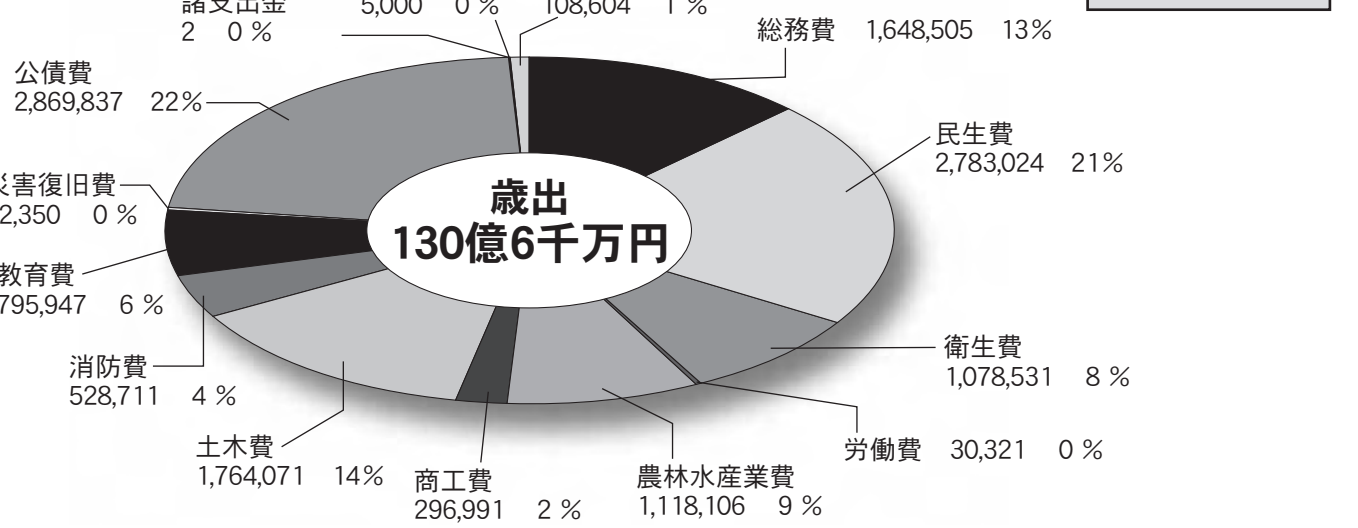
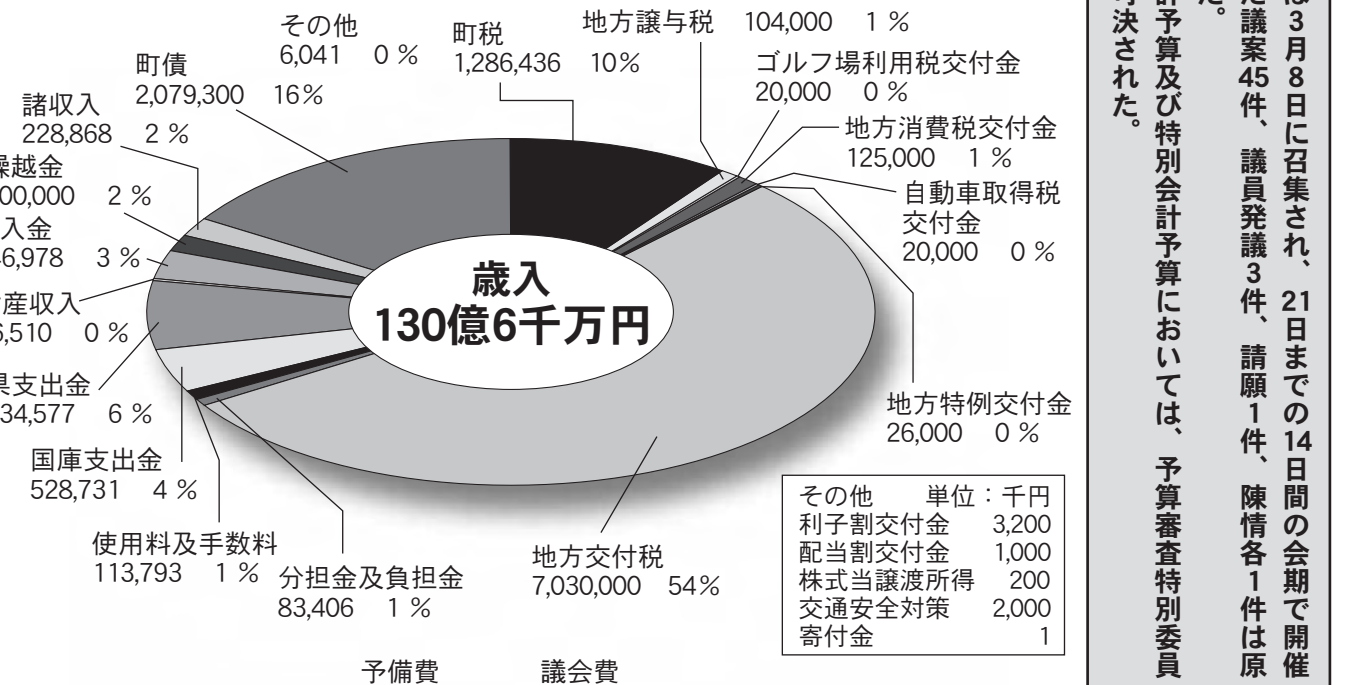
# 平成24年度一般会計予算 130億6,000万円可決 前年度比 5.83%増

**予算審査特別委員会報告**  
委員長 佐藤 郁夫

審査結果  
本委員会は、3月13日、14日、15日、及び16日の4日間、にわたり慎重に審査した結果平成24年度各会計予算及び阿賀町木質バイオマス燃料等製造施設設置及び管理運営に関する条例の制定については原案のとおり可決すべきものと決定した。

なお、審査においては、条例制定について次の通り付帯意見があったので適切な対応を望む。以上、審査結果とする。

**\*付帯意見**  
阿賀町木質バイオマス燃料等製造施設設置及び管理運営に関する条例の運用にあたっては、慎重なる対応を図っていただきたい。



平成24年度第1回定例会は3月8日に召集され、21日までの14日間の会期で開催された。定例会に提出された議案45件、議員発議3件、請願1件、陳情各1件は原案のとおり可決、承認された。

なお、平成24年度一般会計予算及び特別会計予算においては、予算審査特別委員会に付託され、原案どおり可決された。

# 委員会閉会中の

# 継続調査報告

## 津川地区統合保育所の進捗状況等を調査

総務文教

委員長 石川 太一

去る1月11日(1)町有財産の管理状況(2)津川地域統合保育所の進捗状況と校区問題(3)児童数減による統廃合問題(4)郷土資料館の改修事業の調査を実施した。

(1)町有財産の管理については年次計画で解体、売却を実施してきたが、統廃合後の学校や教員住宅の再活用を要望。

(2)の統合保有所は平成25年3月の完成をめどに進行中だが未買収の用地確保に尽力するよう要望。また完成後の卒園児の校区が津川小と三郷小に分かれることか

ら、関係保護者への情報提供を要望した。

(3)児童数の減少による小学校の統廃合については、教育環境や学習環境を考慮した具体的な対策と地域住民や保護者の意向を尊重し、教育委員会との協議を要望した。

(4)郷土資料館の改修工事はすでに完了したが、展示品及び展示資料は整理中とのことであった。

平成25年4月の開館に向けて万全を期すよう要望した。



少人数の課外授業風景

## 小規模多機能型介護施設等を調査

社会厚生

委員長 石田 守家

去る1月18日(1)特別養護老人ホーム(東蒲の里)を視察した。築後20年を経過した施設は老朽化が見えた。看護職員の人手不足等もあり、運営にも努力が見られた。

(2)小規模多機能型居宅介護施設については、4事業者のうち「奥阿賀大輪の里」、「介護施設すみれ」の2事業者であった。他の新規2事業者への指導方を要望した。

(3)津川地区統合保育所の整備事業については子育て支援センターを含む施設である。建設計画予定地の全用地の確保ができていない現状とのことで、早期の解決を望むものである。

(4)福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の環境被害については、汚泥センター内の焼

却灰の埋立地は山形県であり、発酵肥料についても県より販売自粛の要請があったとのことであり、今後も注視していきたい。



今後も高齢化の砦を守ってほしい

## 阿賀町全般の除雪状況等を調査

産業建設

委員長 佐藤 郁夫

去る2月8日所管事務調査を実施した。

(1)町内全般の除雪状況を視察したが、近年に無い豪雪の中全般にわたって良好に除雪されていた。しかし津川地区の住宅密集地における排雪場所の確保と流雪溝の水量の確保及び消雪パイプの詰まり等課題も見られた。

又、町直営の除雪でなく民間業者への委託の改善を望む。

(2)町営三川温泉スキー場の営業状況は雪にもめぐまれ、売り上げは前年度比30パーセント増となった。

本年度は駐車場の無料化や2月の毎週火曜日は女性のリフト無料化の(レディタダデー)等の奇抜なアイデアで集客増につながったと推察される。

自然相手のスキー場でもあり

臨時雇用対策の一助ともなっているが今後の営業努力を期待する。



排雪場所の確保が課題

# 一般質問項目一覧表

3月定例会では、11人の議員から一般質問がおこなわれ、町政全般について、12日間にわたり議論が交されました。

## ◎ 石田守家(8ページ)

- 1 小規模多機能型居宅介護施設事業について
- 2 アドレナリン等の紛失について

## ◎ 猪俣誠一(9ページ)

- 1 新年度に向けての提言

## ◎ 宮川弘懿(10ページ)

- 1 町営スキー場について

## ◎ 五十嵐隆朗(11ページ)

- 1 若い職員にまちづくり研修と参加を

## ◎ 佐藤郁夫(12ページ)

- 1 阿賀町役場の駐車場の拡張について
- 2 文化福祉会館の新築建替予定はあるのか
- 3 麒麟山温泉地区の見晴台について

## ◎ 渡部英夫(13ページ)

- 1 高校総体ボート競技会の開催準備は計画通り進んでいるか
- 2 町道岩谷・川口線の安全対策について

## ◎ 小池隆晴(14ページ)

- 1 今、子供たちに何が起きているのか
- 2 7月豪雨の業者の対応は

## ◎ 星公司(15ページ)

- 1 要援護世帯への支援対策について
- 2 国土(地籍)調査事業について

## ◎ 入倉政盛(16ページ)

- 1 保険料引き下げ、安心できる介護へ

## ◎ 宮澤勝見(17ページ)

- 1 雪対策全般を問う

## ◎ 伊藤武一(18ページ)

- 1 ペレット製造施設の運営について

# 一般質問

# 議員11人町政を問う



## 3月補正予算

**総額 157億3154万6千円**  
**減額 1億2390万9千円**

専決処分承認3件、一般会計ほか特別会計8件が原案のとおり可決しました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>一般会計(補正第10号)歳出の主なもの</li> <li>○総務費           <ul style="list-style-type: none"> <li>木質バイオマス利活用推進事業 Δ143万5千円</li> <li>一般電算管理費 Δ585万9千円</li> </ul> </li> <li>○民生費           <ul style="list-style-type: none"> <li>介護基盤緊急整備事業 Δ2、290万5千円</li> <li>子ども手当支給費 Δ3、140万4千円</li> <li>7月新潟・福島豪雨災害対応事業 Δ1、832万5千円</li> </ul> </li> <li>○衛生費           <ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業特別会計貸付金事業 Δ2億3、000万円</li> <li>子ども医療費助成事業 Δ356万9千円</li> </ul> </li> <li>○農林水産業費           <ul style="list-style-type: none"> <li>一般畜産費 Δ250万円</li> <li>県営農業農村整備事業 Δ585万円</li> <li>森林整備地域活動支援対策交付金事業 Δ1、523万3千円</li> </ul> </li> <li>○商工費           <ul style="list-style-type: none"> <li>一般観光費 Δ322万4千円</li> <li>観光施設ガイド事業 Δ288万4千円</li> <li>キャニオンパーク新谷管理運営費 Δ112万5千円</li> </ul> </li> <li>○教育費           <ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバス管理費 Δ673万7千円</li> <li>要保護・準要保護生徒就学援助事業 Δ77万1千円</li> </ul> </li> <li>○土木費           <ul style="list-style-type: none"> <li>街路灯管理事業 130万7千円</li> <li>除排雪対策費 1億4、637万1千円</li> <li>道路新設改良事業 Δ1、511万円</li> <li>地域住宅交付金事業 Δ415万円</li> </ul> </li> <li>○災害復旧費           <ul style="list-style-type: none"> <li>現年発生林道施設災害復旧事業 Δ1億3、834万1千円</li> <li>現年発生道路災害普旧事業 Δ7、400万円</li> <li>町単道路災害普旧事業 Δ4、550万円</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土木費</li> <li>○消防費           <ul style="list-style-type: none"> <li>常備消防施設整備事業(消防救急デジタル無線) Δ329万9千円</li> <li>常備消防設備整備事業 Δ136万1千円(高規格救急車)</li> </ul> </li> <li>○教育費</li> <li>○土木費</li> <li>○災害復旧費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な特別会計の補正           <ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険 3、280万7千円追加</li> <li>総額18億9、796万3千円</li> <li>後期高齢者医療 164万5千円減額</li> <li>総額1億8、113万4千円</li> <li>介護保険 1万4千円を追加</li> <li>診療所 25万円追加</li> <li>総額2億6、993万2千円</li> </ul> </li> </ul>
--	--	---



石田守家 議員

### 小規模多機能型居宅介護施設整備の遅れと、劇薬指定薬品(アドレナリン)紛失について

**介護基盤緊急整備事業の新規参入業者への町の指導は適切か。**

【質問】

本事業の整備計画の現状について、昨年12月末現在2業者に臨時特例補助金交付が決定された。

当初旧町村から1業者ずつの参入希望事業者の受入れでした。今だ4事業者の整備計画が決定しない、本事業の築造対象は、既存物件を改築し既定の構造規模を満たすこと、町は新築も対象にしている、事業申請から認可に至る過程の町の説明指導が欠如しての遅れかお答え下さい。

また、補助金交付が決定している2業者は4月開設と伺っています。自宅と行き来し、住みなれた自宅で暮らしたいなどの思いが形にできる新しい福祉サービス早急な全施設の開設を願うものです。



完成しつつある介護施設(角神)

**8月頃までに完成予定**

【町長】

4施設はそのまま進行しておりますが、遅れの理由は用地の問題、事業者の資金関係、施設の建設に当る見積り、また、事業者の都合など遅れた部分で指導、助言等については十分行っており疑問を持たないで下さい。23年度で終る予定は4施設全部含め繰越し事業も認めて頂く予定で2業者の4月開設は予定であり、

8月位までは4施設すべて完成してもらおうと鋭意協力をし対応して参りたいと存じます。

**アドレナリン紛失のその後は**

【質問】

劇薬指定薬品(アドレナリン)紛失について、1月15日には存在し、1月21日に紛失が確認された。救急器材ボックスに保管していたポーチが紛失、消防長から2回ほど経過説明を受けました。

その後の捜査状況、職員勤務記録や器材点検経路はどうか、盗難等の関与はないのか、事件による責任範囲、長期間忘れ物、落し物で処理できる問題なのかお答え下さい。

**管理を徹底**

【町長】

アドレナリン紛失については、その後の捜査状況について、現在も継続中であ

**基本構想策定の条例化を**

【質問】

自治法の改正に伴い、基本構想策定の義務が廃止された。基本構想は町の将来ビジョンであり、住民の「安全・安心・元気」を継続的に担保するものである。町が基本構想策定条例を制定し、住民の安心を担保することが重要である。

高齢者にはつらい、除雪作業



**情報提供し検討**

【教育長】

町内7小学校の全児童数は583名で5年後は365名と218名減少する見込みです。

子供にとつての学校は、ある程度の集団の中で、他者とかかわり合いながら、豊かな人間関係や社会性を身につけ、磨き合い成長し合う教育環境が大事である。複式のメリット・デメリットを含め、保護者・地域の皆様に情報を提供して意見をお聞きし、最良の教育環境となるよう検討していきます。

### 新年度に向けての提言

猪俣誠一 議員

**阿賀野川架橋に水位計を**

【質問】

豪雨災害により国道が冠水し、通行不能となり、正確な情報の把握にも支障をきたした。

ダムの放水量の他に水位がわかれば、中小河川からの流入量も予測でき、警戒水位として危険予知や避難指示の指標にもなる。水防のため、阿賀野川の架橋ごとに水位計を設けていただきたい。

**実施に向け取り組み**

【町長】

豪雨災害に対しては、関係機関を含め検証し、結果をまとめ、地域住民に配布したい。水位がここまで達するとこのような状況になるというような、分かりやすい対応をしていきたい。

**町の一体感の醸成を**

【質問】

「豪雨災害に係る県の災

**全域指定に向け要望**

【町長】

豪雪に係る災害救助法の全町適用を、防災大臣にも要望しており、県当局にも観測点の変更を含め要望している。

合併特例により、旧町村適用となつているが、豪雪状況を訴えていきたい。

**教育環境整備は適正か**

【質問】

児童数の激減に伴い多くの小学校で複式教育が想定される。複式教育が悪いと

**時間をかけ検討**

【町長】

手間暇を考えれば撤廃もよかつたと思うが、基本的なことを定める条例は必要であり、今後3カ年の期間があり、皆さんと相談し検討していく。

は言いませんが、人格形成の中で、人間関係の固定から生まれる社会性の育成や多様な思考の醸成等には、疎外の要因にもなる。保護者の皆さんに、児童数の推移や教育目標等の情報を十分に提供し、今後の学校経営や運営を思考すべきではないか。



宮川 弘 懿 議員

## 町政を質す 町営スキー場について

### 町営スキー場の意義は

【質問】

町営の「三川温泉スキー場」が、開設されて30周年を迎えます。

昨年と今年は、雪の多い年で天候に恵まれています。が、装置産業ですので多額の運営資金が必要です。スキー人口も減り、経営環境も苦しいなか、町からの繰出し金も多くなっております。

わが町の特長的な施設であるこのスキー場を、持続可能なものとするためにもどのように考えておられますか。

### 地域の活性化に必要

【町長】

このスキー場は、過疎対策から始まっております。最盛期は、10万人ぐらいい入り、3億円位の収入があったと思います。

地域の活性化、あるいは雇用のある場でもあり、必要性

があります。

### 経営理念(コンセプト)は

【質問】

雇用も92名くらいあり、スキー場と関連施設の売上合計も多い年で6、400万円くらいあります。

現実問題として、一般会計からの繰出金が、5、000万円もありません。従って、明確な存在意義存在価値、経営理念が必要だと思えます。

### 経済効果以外にも効果がある

【町長】

必ずしも金銭的な経済効果ばかりでなく、冬場の活性化、子供達の健全育成、スポーツ振興等の効果も数多くあります。



盛況だったこの冬のスキー客(三川)

### 今後の経営戦略は

【質問】

営業収益といえるリフト等の利用料が、人件費より多くなると、持続可能な施設と言えません。

使用料等の収益を上げるには、スキー場への来場者が多くなければなりません。そのような経営戦略はおもてでしょうか。

### 一層の誘客を図る

【町長】

いかに収入を確保するかについては、民間並の経営的考えを導入しながら、誘客を図ってゆく必要があると思います。

### スキー場の将来展望は

【質問】

国の予算の6割が、地方で使われています。地方財政はこれで成立っています。

町の温泉施設にも恒常的に一般会計から繰出金があります。しかし、要は、国の制度を最大限に活用して、地方経済の活性化に寄与し、町の財政の均衡を図って行くのが重要です。

ところで、このスキー場の将来展望について

【町長】

収支相償うことが理想でありますので、その方向でやってゆきます。



五十嵐 隆 朗 議員

## 若い職員にまちづくり研修と参加

### 新たな発想で豊かなまちづくり

【質問】

5年、10年後には、取り組みいかによって自治体の活性化に相当の格差がつくだろうと言われております。これからの自治体は、みずからの創意工夫によって、個性豊かな町づくりを進めなければなりません。そのため、新たな発想も必要です。町づくりの活性化のため、若手職員を視察研修に派遣するなど独自の人材育成を考えてはいかがでしょうか。

### 趣旨には賛同します

【町長】

研修自体はこれからも前向きで取り組んでいきたいと思っております。職員を議員研修にも是非同行させてください。また専門分野を活かしたいが町職員となると一般行政すべてを知らないと役に立たないので、すべてに精通してもらいたい。職員みずから進んで勉強することが大事です。



期待される若手職員

### ライセンスが取得できる研修

【質問】

専門的知識が必要な課もあるのではないのでしょうか。

### それも必要です

【町長】

念頭に置きながら、採用やその実施に当たってもやっつけていく必要があると考えています。県に派遣などしたので、検討の余地があると思っております。

### 適材適所

【質問】

研修成果を活かした、勤

務体制をとっていただきました。

【町長】

可能な限り、勉強してきた専門分野を活かしてやりたい。

### アイデアの募集

【質問】

2点目は、まちづくりのためのアイデアを定期的募集するなど、若い職員の声も反映できる取り組みがあると意欲的になるのでは。

### かつてもやりました

【町長】

大体似たり寄ったりなんです。募集の点についてはどういう方法でやるかについては今後の課題です。

### アイデアの受け皿を

【質問】

町長や課長の前では、若い人は緊張して、思うようなことは言えないのでは。結構おもしろいアイデアを出してくれていますので、受け皿を考えてほしい。

### ボトムアップ(底上げ)は大事な

【町長】

例えばバイオマスについても、ほとんど中堅ぐらいの職員の発案です。時として、トップダウンもありますが、可能な限りボトムアップをしていき、できる限り今後の取り組みとして、進めていきたいと思っております。

### 研修条例を策定しては

【質問】

研修条例施行規定を策定することで適切な研修計画が立てられると考えますが

### 規定がなくてもやります

【町長】

このようなこともすぐできる話ですので、研修事業の係る規定の整備、規定がなくてもやります。ただ旅費規程とか、一般職員の研修へ待遇を含めて担当課長等々に指示しながら、適切な対応をしております。というふうには思っています。



佐藤 郁夫 議員

- 1 阿賀町役場の駐車場の拡張について
- 2 文化福祉会館の新築建替予定はあるのか
- 3 麒麟山温泉地区の見晴台について

阿賀町役場の  
駐車場拡張について

**質問** 現在の駐車場では狭すぎる。そこで役場の脇の姥堂川を暗渠としてその上を舗装し駐車場としたら今より広く駐車場として使えるのではないかと又川の上を有効的に活用できるのではないかと都市部ではこのような方法をとっているところが多くみられる。それには新潟県より占用許可をとらなければならぬが可能な限り努力して実現してほしい。

**町長**

姥堂川は一級河川で県知事が管理する公共物であるため実現はむずかしいのではないかと。将来的には職員は今より減る訳で一過性のものと思える。職員には来庁する人の駐車にはスムーズに対応するようにさせる。又入札などは各支所ですることでもできる、前もって今日はどのような会議、会合

文化福祉会館の新築、  
建て替えの予定はあるのか

**質問** 文化福祉会館は昭和56年に建てられたもので、あれから31年が経っている。新築、建て替えの時期に入っていると思うが。

**町長**



老朽化している文化福祉会館

結論から言うと老朽化著

イベントなどがあるか早めに把握して対応していく。質問とは別に国道49号から役場に入る入口が狭いので広くしたいとも思っている。

トイレを洋式に  
(ベンチ式)に

**再質問**

当面現在のままで移行するのであればトイレの改修をしてもらいたい。いま家庭ではトイレのほとんどが洋式となっている。文化福祉会館に向いても家庭と同じように用をたすことが

麒麟山温泉地区の見晴  
らし台設置について

**質問**

国道49号の城山トンネル鹿瀬側に抜けると雄大な眺望が開ける。ガードレールの外側に見晴らし台のようなものを作ってはどうか。トンネルを抜けると真正面に飯豊連峰の最高峰大日岳そこをゆったりと流れてくる阿賀の川。この雄大な景色を多くの人に見てもらいたい。又、阿賀町の観光にも役立つのではないかと。

**町長**

千疊岩との関連など県立自然公園の中なので調査し対応を協議したい。

具体的にどのくらいの  
人数がおいでになるのか

**質問**

高校総体にはどのくらいの方々がおいでになるのでしょうか。阿賀野川の土砂流入によりボート競技に支障はないのでしょうか。

1千300人くらい  
を予定

**教育長**

見込み来場者は1千300人くらいと見ています。阿賀野川の状況については今競技が行われたとしても競技に支障はないものと思っております。

選手・役員・応援団が清々しい気持ち  
でお帰り頂けるよう対応したい

**質問**

先月、清流団体スキー競技会に県選手団の役員として参加しましたが、岐阜県高山市の標高1300mの会場で、氷点下の中で地元の皆様方から心温まる歓迎を受けました。わが阿賀町も選手・役員・応援団の方が清々しい気持ちでお帰り頂けるよう地域一丸となつての企画を願いたい。

国体の経験を活かし対応したい

**町長**

先の国体においてかかってない対応だったと評価をいただき意を強くしたところであり、インターハイには同様な対応をしていきたい。選手団も前回より多くなるはずであり、来町者も多くなると思われますので十分な対応をして参ります。

町道岩谷川口線の安全対策

**質問**

消雪パイプの設置でよいのか、あるいはほかに考えられることがないのか検討したい。岡沢地内の町道沈下については阿賀野川の河川災害復旧で水床部へ4tブロック約1千100個程度設置するむね県から連絡を受けている。舗装の沈下については、県の災害復旧工事と調整を図りながら、事故等の発生がないよう十分対応して参りたい。

基本的には機械除雪と  
凍結防止剤の散布で対応

**町長**

岩谷集落から国道へ向けての下りの急勾配、急カーブで冬期間スリップでセンターラインを越え対向車線にはみ出す車を見かけます。消雪パイプ等のスリップ防止をお考え頂きたい。また岡沢地内の舗装沈下箇所についても事故が起きてからでは遅いので沈下防止工事を早急に対応願いたい。



渡部 英夫 議員

- (1) 高校総体ボート競技会の開催準備は進んでいるか
- (2) 町道岩谷・川口線の安全対策について

主催する新潟県に会場地  
として最大限協力していく

**質問**

いよいよ今年是全国高校総体ボート競技会開催の年となりました。新潟・福島豪雨災害により被災した施設の復旧は高校総体開催までには間に合うのでしょうか。全国からの出場選手、役員応援団の歓迎はどうか。

**町長**

県と町の施設合わせて1億8千万円の被害額については専決処分及び補正予算等により復旧作業も進んでいます。棧橋工事は現在発注済みで設置は4月下旬完了の見込みです。また、流出や破損した規格艇も造船所に発注済みで5月初旬に納品予定です。大会に必要な施設、備品等については5月中旬にすべて完了する計画であり、大会開催には支障をきたさず、万全な態勢で選手、役員、応援の皆様をお迎えできるものと思っております。



各種のボート競技会に間にあうのか…



小池隆晴 議員

## 今、子供たちに何がおきているのか& 7月豪雨の業者の対応は

### 今、子供たちに何がおきているのか

質問

近年、発達障害と診断される子供が増えていると聞きます。原因は子供自身にあるのではなく、少子化などによる社会変化の中で大人の子供を見る目が大きく変化したと言われています。発達障害とはどんな症状のことを言うのでしょうか。

町長

平成17年に施行された発達障害者支援法に基づく定義によれば、自閉症、アスペルガー症候群などの広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などの障害の総称です。脳機能の発達に関係する障害で、脳の機能がうまく働かないことが原因と考えられています。

質問

阿賀町の小学生、中学生には発達障害といわれる子

供たちは何人ほどですか。

町長

特別支援学級在籍児童は自閉症、情緒不安定児については小学校で8人、中学校で3人です。

人数の把握が難しい以上依然と比べて増えているかどうかというところはなかなか判断しがたいところがあります。

質問

今、現在どのような対応をやっていますか。



元気な子供たち

町長

黒川病院の専門医、稲月先生に年10回ほど来ていただき、各保育園の巡回相談や個別相談会などを定期的に実施するとともに、地域活動総合支援センター、たんぼへ相談支援専門医を今年度から常駐させています。

保育園、小・中学校には介助員を配置、学校では通級指導教室、特別支援教育コーディネーター、教育相談、適応指導教室を設置、来年度からは三川中学校に特別支援学級を新設します。

教育長

学校には各旧町村単位で1つの小学校で1つ、ないし2つの特別支援学級を設けており専任の教師が配置されています。

質問

保育園と小・中学校

では担当する課が違います。情報の連携はどうなっていますか。

教育長

保育園、小・中学校それから義務教育を卒業しても一体的に連携できる一連のサポート体制を作っていくかなければならないと思っています。

### 7月豪雨災害の業者の対応は……

質問

7月豪雨の記事が新潟日報に連載されました。その中で「電力業者は地元で配慮した対策も行って」と書かれています。阿賀町にも配慮はあったのでしょうか。

町長

お見舞金として東北電力から昨年11月25日、500万円を町に戴いています。電源開発株式会社はありませ



星 公司 議員

## ○要援護世帯への支援強化を ○国土(地籍)調査の策定状況は

### 弱者への配慮を

質問

降りやまぬ雪に、高齢者からの除雪をやってくれる人がいない、相談する人がいないなどの悲鳴にも似た声が多く聞かれました。

町長を始め全職員が一丸となり、豪雨対策に一生懸命と取り組んできたことと思いますが、それら町民の不安感を払拭するには自宅訪問をし、相談に乗るなど、より一層の支援強化を図る必要があると思います。町長の考えを伺います。

### 組織の整備で

町長

テレビ電話や緊急通報システムを活用した相談、安否の確認を含めた見守り活動もあわせて実施しているところではあります。

民生委員や新聞販売店、商工会、消防団といった各組織が独自で実施してきた見守り活動、あるいは定期

### 全体の姿を明らかに

質問

昨年6月定例会において

的に意見交換をする。災害時のみならずそういう機会というものが、より多くなるような手立てというのはこれからさらさら一層進化させていかなければならぬというふうを考えています。

### 宅地から調査

町長

24年度から31年度までに実施する国土調査事業全体計画について策定の最終段階に入っています。



2年つづきの豪雨

計画地につきましては、上川地域の豊川地区、三川地域の石戸地区の一部、及び白崎地区の一部なども含めて、年度別の計画につきましては24年度において上川地域の大部分の宅地回り及び農地等

0・5平方キロの調査を実施し、25年度については合川区の回りを含む大田区周辺の山林、0・4平方キロの調査を予定し、その後、年度平均約0・5平方キロの調査面積をベースとして順次実施していきたいと考えているところです。

24年度以降につきましては、事業実施前に対象集落や所有者の皆さんに十分説明をさせていただき、事業の効果等のご理解とご協力を得ながら計画を進めてまいります。



地権者立会いでの測量





# 保険料引き下げ、 安心できる介護へ

入倉政盛 議員

## 法「改正」による町の 介護事業計画を問う

質問

第5期事業計画が来年度から実施されますがどこでも大幅な値上げとなつていきます。主な改定内容は10項目に及びますが主に次の5項目について伺います。

①市町村の判断で介護予防・日常生活支援総合事業を創設できる。

要支援者サービスを町は総合事業か従来どおりの介護給付のどちらを選ぶのか。

町長

まだ確たるものになつておりませんが、できるだけ支援できるような形で取り組み、基本的にはこれまで行ってきた。地域支援事業と介護予防事業の中で実施していく予定です。

②24時間対応の定期巡回随時対応型訪問介護看護、2種類の在宅サービスを組み

合わせる複合型サービスの創設ができる。

定額制はサービスの提供控えや事業者が軽度の人を逆選択すること、夜間勤務の担い手確保、十分な職員体制ができるのか。

町長

随時対応型の訪問介護看護及び複合型サービスの創設ですが、近々小規模多機能の施設が町内4カ所創設される見込みです。

訪問看護については、県立津川病院と町の訪問看護ステーションの2カ所でサービスをを行っています。夜間対応についても、津川病院との間で協議中です。

③介護職員のたん吸引などの医療行為を可能にする。

法律を変えなくても、介護職員が行う医療行為の範囲を拡大することができるようになる。こういうことが他の職種に肩代わりさせ

ることには問題があると思えます。町長のお考えは。



だれでもお金の心配なしで入れる老健施設を

町長

看護師不足という点では非常に懸念している。町と県立との病診連携で常に連携も強めており、さらに一層強めていくしかないのではないかと思つています。

今回の法改正では、医療依存度が高い高齢者でも、介護施設に入所できる体制を構築する一環として、看護研修を受講した職員に限り、たん吸引等の医療行為を認めたもので基本的には各施設において対応する事

項であるということです。

④介護療養病床の廃止期限の6年間延長について。

町長

転換の期限が29年度末まで延長と言うことですが、町内には介護療養型医療施設は存在しておりませんので、特段の対応が必要というものではありません。

⑤財政安定化基金の取り崩しを可能にする。

財政安定化基金を取り崩すかどうかは都道府県任せになっていきます。

町長

財政安定化基金の残高はすでに保有しております。実際には取り崩しはできない状況であります。町の場合は、介護給付準備基金(1億1,600万円)を保有しております。この基金の取り崩しによって、介護保険料の引き上げ幅を圧縮して影響の緩和に努めます。



# 雪への対応全般を問う

宮澤勝見 議員

質問

この地から雪にまつわる多種多様な事象に終りはなく、18年ぶりの豪雪の反省を持つて来年に備えることが肝要だ。今回の豪雪に対する行政の対応は町長以下職員の大きな努力で大過なかつた事に感謝する。除雪排雪に関しても業者及び町民のご苦勞にねぎらいを申し上げます。又、被災された皆様へお見舞いを申し上げます。私は今冬町全集落最低2回見て歩いた点から伺います。

1月の産建委員会説明で今冬は津川町内の一斉除排雪はしないとあつたが、財政的からなのか。

町長

財政面では直接関係ありません。国も県も心置きなく除雪をやれであります。

質問

合併特例的な財政支援が細くなり、やがてなくなる観点から除雪費の削減に取り組むべしと考え、必ずしも必要ないと思われる林道



課題の多い除雪作業

である小出・九島線、芹田旧道・小山線、長木・広沢線、原・岩井田線等々あるが。

町長

2月末現在で直営及び3業者で合計延長5.1kmで1,034万3,000円となつております。

質問

津川町内の流雪溝は奥田区から田町姥堂川までの流雪溝は概ね機能しているが極めて問題ありは津川小学校を中心とする通称角から下町までの流雪溝だ。2基のポンプアップで賄うが自然水は望めず、冬の姥堂川は水量が少なく、又多く上げれば溢水して混乱する。このような要因を考える。

今冬の最高積雪量と警戒

対策本部設置基準と豪雨対策本部設置基準と日時を示せ。

町長

2月10日計測で鹿瀬190cm、丸瀬226cm、福取で242cm、綱木262cmで、1月31日に更に除雪が予想される点から警戒対策を設置し、2月4日に指定観測所で2mを超え災害救助法の適用が確実になつたので豪雪対策本部を設置しました。

質問

取りあえず少ない水で雪を流すには先ず流雪溝の角(交差点)をステンレス等部材を当て、角から円に変えること、そして小学校前の分水板を道路反対側に移動し極力角を作らない仕組みを提言するが。

町長

私も常に頭を痛めています。夏場の排水にも要望が強くなります。水さえあればなんとかなると云うことで検討させております。衛生面からも考え流雪溝兼排

水溝の解決からも上ノ山側の堤の水や沢水を時々でも利用し、水があれば屋根雪や道路排雪も多く省ける点から取り組んで参ります。ご指摘の件につきまして今後の課題と受け止めて進めます。

質問

一般家庭向け除雪賃金のエスカレートはとめどがない状況だと町民から相談を受けた。弱みにつけ込む便乗値上の何ものでもない。一人18,000円から2万円位まで一人暮らしの年金者は大きな負担だ。大工さん等の日当と普通の会社の従業員が同じに考えているとの話もありました。町長が音頭を取つて協定をしっかりとやって頂きたい。

町長

大工と建設業者さんでも違うんですね。又使い勝手やお願ひしていると云ういろいろな要素が有つての現状なんでしょうが、業者の皆さんと十分詰める必要があるのかなと考えています。

# ちょうみんのひろば



昨年の災害をふり返って  
西潟正男さん(吉津)



人と人のつながり  
清野文彦さん(向鹿瀬)

昨年の冬は、近年に無い大雪に見舞われ除雪作業に追われる毎日でした。ようやくの春の到来と思いきやあの東日本を襲った大地震と大津波により多くの尊い命が奪われました。そして今も避難生活を余儀なくされている方々を思う時本当に胸の痛む思いです。

そして今度はあの「新潟・福島豪雨」によりわが吉津集落の大半が床上浸水となる。多大な被害を受けました。しかし幸いにして1人の犠牲者も出さず避難できたことは不幸中の幸いであり、集落の皆さんの協力があればこそ感謝です。そしてその後、復旧に当たっては、早々に各地からの多くのボランティアの方々のお世話になり感謝の言葉もありません。本当に有難うございました。



ボランティアの皆様、猛暑の中ご苦労様です

昨年は「東日本大震災」「新潟・福島豪雨」「記録的な豪雪」と自然の脅威を改めて認識すると同時に人と人とのつながりが如何に大切なものか感じた1年でした。「新潟・福島豪雨」では阿賀町も被害が多く出ました。私の住んでいる地区も避難勧告を受け、近くのセンターに避難しましたが、この先どうなるのかという不安の中でセンター近くの住民の皆さんに炊きだしをしてもらったり、

他の地域の情報を教えてもらったりといういろいろと気を遣ってくださった事を今でも思い出しながら感謝しています。相身互い「あいみたがい」同じ境遇の人達が助け合う事だそうです。助け合う事が出来るのは普段から近所付き合いをしているからではないでしょうか。そこから人と人のつながりが生まれ、お互いに助け合う事が出来ると思います。都市部ではその近所付き合いが希薄

になってしまいがちに誰が住んでいるのかも分からず、孤独死や犯罪の遠因と言われる事があります。しかし阿賀町はその近所付き合いの出来る環境があります。この環境を「守る・維持する」ことで町が「つながり災害や被害を最小限に抑えられ、発展のヒントも見つかるのではないのでしょうか。少子化・高齢化も進んでいますが、人が居てこそ町です。もっと住み良い町になることを願います。

## 町政を質す 木質バイオマス管理運営を問う



伊藤 武一 議員

### ペレット製造施設 運営について

**質問** 町と受託会社の契約内容が報告されていない。

**町長** プロポーザル(提案型入札方式)によって委託の形をとって参りました。中味の問題でございますので納得のいくようにしていきたい。施設の管理運営ということでの契約になっており場所、面積、製造施設等であり委託期間は24年3月31日までであり本稼働に行くまでの間の準備契約であります。23年度試作品は町が所有、家屋、重車両災害保険は町が負担。雇用促進ということ面で面見する。こういった形で契約している。(緊急雇用給料町負担)

**質問** 事務所内の機具の設備、暖冷房も含み、至れり尽くせりの内容と受けとれるがいかがなものか。地区の集落センターの冷暖房は集落

で取りつけしている。

**町長** 町の施設でありそれなりの責任もあり優遇している感じはございません。しかし今ご指摘頂くようなことがあるとすれば、問題として十分そういう点に配慮するようにさせていただきます。

**質問** 24年3月31日で契約切れ新たに契約することになっていますが、同じ業社になると思いますが長期的な永劫契約なのか問う。

**町長** この1年で不都合が出てくるのか、改善することもあるかもしれません。皆さんと相談し、どの程度の長さにしていくのか、未来永劫でやることはないだろうと思っている。3年位が一番よいのではないかと柔軟な対応で、皆さんと相談させていただきます。

**質問** 製造施設、事務所、附帯施設の維持管理費の対応は

**町長** ベンチャー企業であり、成功させたい。施設の不都合な部分については皆さんに諮りながら対応していきたい。維持管理費等支払は予定はないし契約にもない。将来的には、委託金は払う。指定管理料は払わないが、利益還元は共存する範囲で求めたい。

**質問** 事業者が調達するものと町が設備しなければならぬ区分け、いわゆる公設民営事業がどうあるべきかが見えない。この事業には町はそうとうの力を入れておられる様子が伺えられる。森林活性化、里山の整備、雇用の確保、期待する大型プロジェクトでもありません。将来この事業が、町の負の財産にならない様にしなければならぬと思います。

**町長** あれもだめ、これもだめということではないでしょうけれども、やはりある程度事業として成り立つ部分

については常識の範囲で行うようにしたい。ご指摘を受けたことについては、今後対応しなければならぬと思っております。

**質問** カーボンオフセット、クレジット販売収入は、どの様な取扱いをするのか。

**町長** クレジット販売収入に関しては、ある程度の額が確保できましたら基金化するなどの措置を講じまして、森林整備に関する施策の財源に充てていきたい。

**質問** 森林開発里山の整備、雇用の促進、地場産業の活性化と多くの期待がかかっています。応援する一人ですが町と事業者の役割をはっきりとした形で支援するべきと思うが。

**町長** 是非そういうかたちでこの事業を成功させたいし、モデル地域産業としていきたいと願っています。